

久慈拓陽支援学校

研究テーマ

「キャリア発達を促し支援学校卒業後の生活を支えるに必要な力を育む指導・支援の在り方を求めて～基礎的・汎用的能力『キャリアプランニング能力』に焦点を当てて～」（3年次研究：2年目）

1 全校研究

(1) 研究の目的

児童生徒一人一人のキャリア発達を促す力を育む指導・支援の充実、共有を図る。

<目指す姿>

児童・生徒 基礎的・汎用的能力（特にキャリアプランニング能力）が伸び、健康で明るくたくましく生きる力が向上する。

教職員 キャリア教育（キャリア発達の促し）への高い専門性を有し、個々の教育的ニーズに応えて一人一人に必要な力を身に付ける指導・支援の力が高まる。

(2) 令和元年度の実践

①第1回全校研究会（5月13日(月)）

・本校研究について職員間での共通理解を図ることを目的とし、今年度の校内研究の方向性の確認を行った。

②研究授業、全校授業研究会（第2回全校研究会）（10月9日(水)）

・本校研究に係る研究授業及び授業研究会を通じて、児童生徒一人一人のキャリア発達を促す力を育む指導・支援の充実、共有を図ることを目的として実施した。

・研究授業 中学部：作業学習
単元名「後期校内実習（木工班）」

③第3回全校研究会（1月27日(月)）

2 各学部研究

(1) 小学部

・重複障害学級、低学団、高学団のグループ毎に「めざす児童の姿」を設定した。各グループで授業実践を行い、学部全体で活動や支援について協議・検討を行った。

・学部研究授業

重複：体育「スーパーヒーローになろう！
～マットで体を動かそう～」

低：遊びの指導「ゲームランドで遊ぼう！」

高：生活単元学習「誕生会をしよう」

(2) 中学部

・研究の場を作業学習に絞り、「めざす生徒の姿」を設定した。作業班毎に授業実践を行い、学部全体で協議・検討を行った。

・学部研究授業
紙工班（学部）

(3) 高等部

・「めざす生徒の姿」を設定し、学部全体を進路希望に対応した3グループに分けた。「くらす」「はたらく」「たのしむ」をテーマとした進路学習を対象とし、授業実践を行い、グループ毎に成果や課題について協議・検討を行った。

・学部研究授業
総合的な学習の時間「進路学習」

(4) 寄宿舎

・対象生徒を3名とし、個別の支援プランの「キャリアプランニング能力面で伸ばしたいこと」について、舎全体で支援の在り方の実践・検討を行った。

・総合教育センターから講師を招聘し、寄宿舎におけるキャリア教育に関する学習会を実施し、本校のキャリア教育について理解を深めた。

3 講演会

演 題：「家庭への支援を必要とする児童生徒
対応」

講 師：常磐大学教授 秋山 邦久 氏

期 日：令和元年7月29日(月)

会 場：久慈グランドホテル

参加者：81名

4 研修会

(1) 校内研修（職員研修会：5月13日(月)）

キャリア教育に関しての教職員個々の理解を深め、本校の校内研究について職員間で共通理解を図ることを目的として実施した。

(2) 校外研修（研修報告）

①東京都立南大沢学園学校公開

②宮城教育大学附属特別支援学校公開研究会

③秋田県立比内支援学校公開研究会